

「withコロナの住まいと暮らし方を考える」

基調講演・トークセッション

参加無料

長崎県CISCOシステム「WEBEX」でオンラインで配信します。

社会と環境の変化に伴い、住まいを取り巻く環境は日々変化しています。昨今の新型コロナウイルス感染拡大は、日常生活に大きな影響を及ぼしており、今後は、これまで以上に「安全で快適な住まい」が求められます。

—withコロナの状況下こそ、住まいと暮らし方に工夫を重ね、生活の質を向上させることができるのではないかと。

長崎で活躍する三好智子建築士とともに、感染予防のためのステイホームが目される中でのwithコロナの住まい、暮らし方を考えます。

■ 開催日時

10/31 土

開始10:00～終了11:10

■ 場所 (同時刻にオンラインでも配信します)

長崎県庁 1階協働エリア

〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3番1号

交通アクセス：長崎駅西口より徒歩約7分

※後日、動画サイトでも配信予定

■ 申し込み

県の申込システムから申し込み

(定員：会場40名、WEB100名)

※申込締切：10月29日(木)



■ 基調講演・トークセッション

① 住宅とコロナ

～健康住宅の視点から～

慶応義塾大学理工学部
システムデザイン工学科 教授

伊香賀俊治



② withコロナの暮らし方

～移住者の視点から～

スマイルローバー 代表
(ちゃぶ台三葉 運営)

澤登舞



< ナビゲーター >

長崎で活躍する女性建築士

長崎県建築士会 女性委員長
(株式会社三省建築研究所)

三好智子



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用でご来場ください。

また、会場入口では検温を実施しますので、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

お問合せ：長崎県土木部住宅課 住環境整備班まで (TEL：095-894-3104)

2020 まちづくり総合住宅フェア

基調講演・トークセッション「with コロナの住まいと暮らし方を考える」 出演者紹介

い かが としはる
伊香賀 俊治 氏

慶應義塾大学工学部システムデザイン工学科 教授

【略歴】

1959年東京生まれ。早稲田大学工学部建築学科卒業、同大学院修了。

(株)日建設計 環境計画室長、東京大学助教授を経て、2006年より慶應義塾大学工学部システムデザイン工学科 教授。

専門は建築・都市環境工学。博士（工学）。日本建築学会副会長、主な研究課題は『住環境が脳・循環器・呼吸器・運動器に及ぼす影響実測と疾病・介護予防便益評価（科研費基盤S）』。

共著に『最高の建築環境をつくる方法』、『すこやかに住まう、ゆすはら健康長寿の里づくりプロジェクト』など。



さわのぼり まい
澤登 舞 氏

スマイルクローバー&ちゃぶ台三葉 代表

【略歴】

1975年茨城県生まれ。東京理科大学卒業。

2011年3月11日の東日本大震災をきっかけに、2012年1月東彼杵町に移住。

同年、農産物のネット販売スマイルクローバーを立ち上げる。その後、イベントプロデュース、司会業、講師業のスタート。2016年12月に家庭料理店「ちゃぶ台三葉」をオープン。

長崎県男女共同参画推進委員、長崎県男女共同参画審議委員、東彼杵町総合戦略推進委員、長崎県大浦お慶プロジェクト、長崎県移住コンシェルジュなど。



みよし ともこ
三好 智子 氏

長崎県建築士会 女性委員長、一級建築士、土地家屋調査士

【略歴】

1958年生まれ。

(株)三省設計事務所を経て、平成28年に株式会社三省建築研究所を設立。

同時に平成28年三好智子土地家屋調査士事務所を開設。

管理建築士として「十善寺地区のまちづくり（意向調査・建替え促進計画等）」を3年間担当。

「中島川・寺町エリア道路修景デザイン」・「長崎駅二輪車等設計」など景観を考慮した設計においても管理建築士として携わる。

